

## 【教育理念】

看護は生命の尊厳、人間尊重に基づいて行われるものであり、人間関係のプロセスを基盤として、あらゆる健康レベルにある人が、もてる力を最大限に発揮できるよう生活を整えることである。

この考えに基づき、人間に対する理解を深め、誠実で豊かな人間性を養うとともに、科学的思考と問題解決能力を養い、保健医療福祉システムの中で、地域医療・地域包括ケアの要として、専門的役割を果たす看護実践者を育成する。

## 【教育目的】

命の尊さを基本に豊かな人間性を養うとともに、変化する社会に対応し、看護の専門職として判断・問題解決ができる看護師を育成する。

## 【教育目標】

- ① 人間を理解し、命を尊び、個人を尊重する姿勢を養う。
- ② 豊かな感性、創造性を持ち、誠実で社会人として調和のとれた人間性を養う。
- ③ 社会、保健医療福祉の変化に対応できる専門的知識、様々な場面に対応する判断力、問題解決能力を身につける。
- ③ 科学的思考による対象への個別的看護が実践できる。
- ④ 地域医療・地域包括ケアチームの一員としての看護の役割を果たす能力を養う。
- ⑤ 専門職としての自覚を持ち、真摯で主体的な学習と研究的態度を養う。

## 【教育方針】

- ① 少人数制教育の強みを活かし、学校生活のあらゆる場面において、学生と教師が互いに知的刺激源となり、切磋琢磨していける雰囲気とする。
- ② 日常生活の中から、人に対し、物に対し、また情緒面においても、繊細で豊かな感性を備え、自他の内面への洞察ができる人格の形成を目指す。
- ③ 常に問題意識を持ち、解決方法を習得していく。学習の方法論を身につけ、種々の機会を自主的なものとして活用していく。
- ③ 自主・独立の精神のもとに、自らの行動に責任を持ち、伸び伸びとした生活とする。そして自由な心の触れ合いの中にも規律と秩序を重んじる。

## 【卒業生像（ディプロマポリシー）】

- ・ 人間の命を尊び、あらゆる人をありのままに受け入れ、尊重できる。
- ・ 看護の専門的知識、技術をもって判断、問題解決ができる。
- ・ 科学的根拠を基に、論理的思考ができ、対象に合わせた個別的な看護が実践できる。
- ・ 社会、保健医療福祉の動向を敏感にとらえ、看護を創造的に考えられる。
- ・ 地域医療・地域包括ケアチームの一員として看護職の役割が果たせる。
- ・ 人間関係のプロセスの中で、相互に啓発し合い、自己成長できる。
- ・ 豊かな感性と真摯で主体的な学ぶ姿勢を持ち、看護を探究し続ける態度がもてる。